



第16回 登戸福祉まつりに賛助会員の方々ご招待

社協の運営は賛助会費の支援を受けて地域福祉活動を行っていることから、2月22日に行われた「登戸福祉まつり」では、日頃の感謝の気持ちを込め、活動の一環である「登戸福祉まつり」に賛助会員の方々をお招きし、地域の福祉活動に触れていただきました。

総務企画部会



登戸地区社協の活動が円滑に行なえるよう、潤滑油としての役目を果たして日々活動しています。広報誌「のぼりと」では今年度の重点テーマとして迫り来る高齢者社会に向かい、登戸地域包括センターの紹介を取り上げました。

老人福祉部会



「ふれあい老人会食会」は今年、食事の席を椅子に変更し、膝などへの負担を軽減することに努めました。また季節の催しを取り入れたり、きめ細かいメニュー作りから生まれる手作りの食事は、毎回大好評で参加人数が増えています。

青少年福祉部会



地域の青少年、住民の方との交流、子供を取り巻く良好な環境を作ることを目的に活動しています。6月19日に七夕祭り実施、9月18日、たまたま子育てまつりへの参加、12月4日紙飛行機大会の開催をしました。2017年2月5日節分祭への参加。

障害福祉部会



7月23日、地域の作業所に通う障害のある皆さんとともに、ウタガタリストの足立紫帆さんを迎え「お楽しみ交流会」を開催。弾き語りライブでは紫帆さんと一緒に歌・手遊び・ゲームを楽しみ、その後は紫帆さんの歌を堪能しました。

ふくし奇合処たま 登戸

「お茶を飲みながら話したい」「誰かと一緒に過ごしたい」「心配事があるけど、どこに相談すればいいかわからない」そんなあなたをお待ちしています。

毎月1回、赤ちゃんから高齢者の皆様までどなたでも気軽にお話いただける場所です。

場所 登戸老人いきいの家

開催日 毎月第2火曜日
午後1時30分～3時30分まで

川崎市多摩区社会福祉協議会
問い合わせ：044-935-5500

たくさんのご協力 ありがとうございます!!

平成28年度賛助会費報告 1,065,000円
(内 745,500円を登戸地区社協に還付)

共同募金・年末たすけあい募金

ご協力ありがとうございます

登戸地区

平成28年度募金総額

2,215,539円

福祉の輪 ひろげて明るい街づくり!

賛助会費のご協力をお願い申し上げます

登戸(登戸・登戸新町)地区社協の主な仕事

- 登戸福祉まつり
- 社会を明るくする運動への協力
- 共同募金・年末たすけあい運動の推進
- 登戸老人いきいの家の運営・協力
- 母親クラブへの後援
- 社協研修会の実施
- ふれあい型老人会食会の実施
- にっこり会
- 広報紙「のぼりと」の発行
- こども会活動への協力
- 障害者団体との交流会・クリスマス会
- 子育てサロン「ひよっこ」への協力

等々 町会、自治会、民生委員児童委員協議会、保護司会からの会費、そして地域の皆さまからの賛助会費によって支えられています。



社協は
社会福祉協議会の
略称



3.31
2017 No.26

発行 登戸地区社会福祉協議会
川崎市多摩区登戸1763
ライフガーデン向ヶ丘2階
TEL 935-5500
発行人 吉田紀代子
編集人 総務企画部

健康と幸せが守られる明るい福祉の街づくり

福祉はわたしたちの心の中にある 幸せの青い鳥を求めて

登戸地区社会福祉協議会は11月30日、同じ神奈川県でも周囲はのどかで畑に囲まれた相模原にある社会福祉法人「相模福祉村」へ視察研修を行いました。

「相模福祉村」は昭和48年、プレハブの選挙事務所跡地を障害者支援「たんぼぼの家」と名づけ、市内初の地域作業所として産声をあげました。

その後、宿泊施設も開設し現在では「障がい者支援」「高齢者支援」「障がい児童支援」「子育て支援」等々、73ヶ所の事業を展開しています。



子供の好奇心を刺激する
樹上を模したツリーハウス

最初の視察先、特別養護老人ホーム「縁JOY」は入所者が自分の家に住んでいる感覚が持てる

ように配慮されていました。個室は広く、家具は今まで使用していたものを持ち込むことができ、自然に現在の生活に順応できるような工夫がされていました。また、保育園が併設されており、お年寄りと園児の交流の場を設けていることも特徴です。

その後、児童発達支援センター「青い鳥」を視察。発達障がいの子供の成長と家族を支える

ことを基本とした施設です。この施設は開設されたばかりで、子供たちは太陽



地域に開放した体育館

と緑の自然の中で自由に遊ぶことができます。施設内は冒険をテーマとして児童の好奇心、探求心が広がるよう工夫された遊び場が随所がありました。

また、この施設の一部は地域の理解が得られるよう開放しており、地域のコミュニティーの場として活用されています。

現理事長は誇りを持てる施設作りを目指しており、それにはスタッフは重要で、楽しくやりがいを持ち、長く働き続けられる環境づくりを心掛けているとのことでした。同じ相模原市にある障害者施設「津々井やまゆり園」の事件を重く受け止め、重ねあわせる時、差別のない安心して暮らすことができる社会福祉への認識を深める有意義な視察となりました。

… 地域での支えあい …



登戸地区社協会長
吉田紀代子

登戸地区社協では、登戸に住んで良かったと思われる町づくりを、地域の皆様方とともに、行政、社会福祉協議会、町会、関係機関等と連携し推進してまいります。地域における「互助」の充実をはかり、支えあいの心を大切にして、安全安心の街づくりを目指していきたいと思っております。

皆様のなお一層のご協力とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

高齢化社会
家族に何かあったら
どうしよう～！
介護・う～ん…、
何をどうすればいいか
よく分らない

特集

困ったときには行ってみよう！ 登戸地域包括支援センター

私たちの町 登戸・登戸新町も高齢化が迫っています

最近、街中で朝と夕方に高齢者の介護の送迎車をよく見かけられるようになりました。

私たちの住む登戸と登戸新町25,988人のうち、65歳以上のお年寄りが約15%（※¹ 高齢化率）3,929人も住んでいます。高齢化はこれからますます進むことでしょう。そうしたお年寄りや家族の方から、困ったときどこへ相談してよいか解らないという声が寄せられています。そうした時の「なんでも相談」窓口が「登戸地域包括支援センター」です。でも、まだよく知られていません。

そこで「登戸地域包括支援センター」を特集しました。困ったことがあれば、まずは気軽に直接電話するか、地域の身近な民生児童委員をとおして相談することをお勧めします。

登戸・登戸新町の人口構成（平成28年.10月1日現在）

全体	男	女	計	世帯数
登戸	11,306	10,358	21,664	12,597
登戸新町	2,377	1,947	4,324	2,756
合計	13,683	12,305	25,988	15,353
内65歳～	男	女	計	
登戸	1,477	1,850	3,327	
登戸新町	258	344	602	
合計	1,735	2,194	3,929	

地域包括支援センターってどんなところ？

高齢者やその家族のための
公的な相談窓口です

地域包括支援センターの設置主体は市町村など各自治体です。具体的な業務内容は大きく分けて4つ、権利擁護、総合相談、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメントです。

これでは少し難しくて分かりづらいので、**高齢者とその家族を支えるよろず相談窓口**とってください。相談は地域包括支援センターの窓口でも、電話でも可能です。また、スタッフがご自宅へ訪問しての相談にも応じています。プライバシーは厳守されます。

スタッフは専門職の人たちです

地域包括支援センターでは社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャー（主任介護支援専門員）等を中心に、それぞれの専門性を発揮しながらチームで支援が行なわれています。

相談料はかかるのでしょうか

少し不安なことがあるけれど料金がかかりそうなので行きにくい。と躊躇している方、その必要はありません。相談は無料です。



相談といっても

どのような相談に応じてもらえるのでしょうか

…**それではいくつか例を紹介しましょう**…

① 介護保険のサービスを利用したいが、どうしたら良いの？

介護保険は、制度や手続きがわかりづらいことがあります。具体的な手続き方法からサービス利用までの流れについて、解かりやすく説明してもらえます。また、手続きがされた後も、サービスが利用できるまで、状況に合わせた形でフォローされます。

★介護認定が出た後は…

- ・要支援と認定された方は、地域包括支援センターがケアプランを作成します。
- ・要介護と認定された方は、ケアマネジャーが紹介されます。
- ・介護認定が非該当だった方は、介護保険サービスは利用出来ませんが、地域活動など代わりにする場の情報が提供されます。

② 認知症がある一人暮らしの親が、必要のない布団を買ってしまった…

不要な高額商品を買わされてしまったなど、消費者被害については、クーリング・オフの制度を利用して、契約を無効化することが場合によってはできます。地域包括支援センターでは、このような場合、消費者行政センターと連携を取り、消費者救済のため必要な手続きが取れるようサポートしています。

③ 近所のお年寄りが、奥さんを亡くしてからあまりお会いしなくなって心配

その方はすでに地域包括支援センターで関わっている方かもしれません。地域包括支援センターが把握している方かどうか調べてもらえます。

また、地域包括支援センターは民生児童委員（※²）と連携していますので、把握していない場合は、民生児童委員に情報を確認してもらう事ができます。

なお、状況によっては、その方の所に訪問することができます。

④ すっかり介護に疲れてしまった。誰か相談に乗って欲しい

地域包括支援センターは、介護者の方の相談を受付けています。話の内容によっては、担当のケアマネジャーやサービス事業所と連携し、介護の軽減に繋げる事ができます。

また、認知症など介護疲れの原因が特定されるようであれば、専門の相談窓口を紹介してもらうことができます。

⑤ 介護保険の制度がよくわからないので、町会で説明してもらえないか

地域包括支援センターのスタッフが地域に赴いて、介護保険制度など介護にまつわる説明を行います。町会単位でなくとも、友人・知人同志など少人数の集まも大丈夫です。また、認知症に興味のある方は、認知症サポーター講座の相談も受けられます。

※² 民生児童委員とは：地域住民からの生活上の心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じています。そして、その課題が解決できるよう必要な支援への「つなぎ役」になっています。

登戸地域包括支援センターへの連絡は

登戸地域包括支援センター

TEL (933) 7055

FAX (933) 7077

月～金 8:30～17:00

土日、祝日は転送電話対応

アクセス 登戸駅から徒歩10分・向ヶ丘遊園から徒歩5分

地図は下記の登戸包括センターHPに記載あり

<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000021780.html>



※¹ 高齢化率 65歳以上の高齢者人口（老年人口）が総人口に占める割合のこと。因みに総務省が27年に行った国勢調査をもとに発表した全国の高齢化率は26.7%で、1920年の国勢調査開始以来高齢者が初めて25%を超えました。